

# 「流域治水」ってなんだろう？

これまでは…

洪水を防ぐために河川を拡幅したり、河床を深くするなど河川を流れる水の量を増やすことに力を入れてきました。（河川改修）

しかし、近年は…

- 気候変動による**豪雨の激甚化・頻発化**が進んでいます。
- **急激な都市化の進行**により降った雨が河川に集まりやすくなっています。



- **洪水の危険性は、今後も高まる**ことが予想されます。
- 河川改修だけでは、増大する洪水のリスクに対応できない可能性があります。

そこで

河川の範囲を超え、集水域・氾濫域を含めた流域全体であらゆる関係者が協働し、**水害を軽減する治水の要として「流域治水」を進めます。**

- ・ 河川に水が集まる地域（集水域） → **雨水を貯留し、川に集まる水を減らす。**
- ・ 浸水時に影響が及ぶ範囲（氾濫域） → **住まい方の工夫や避難行動を考える**

